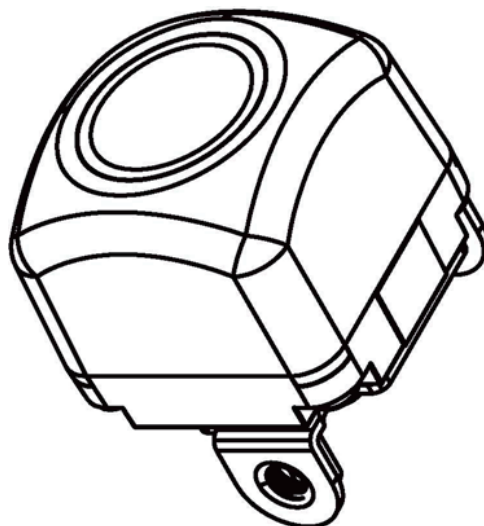
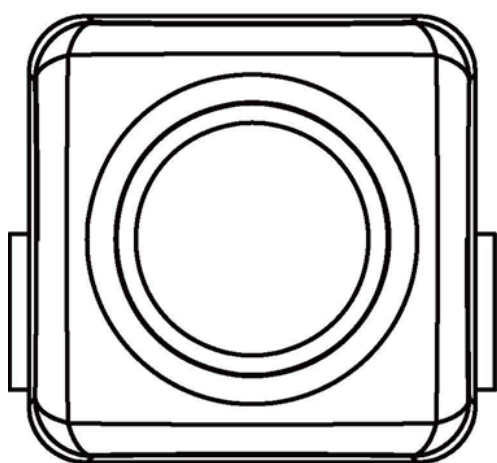


KOVALL

バックカメラ

CK01-RCA

取扱説明書



保証書別添

この度は、バックカメラをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受取ください。

目次

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)	1
■ 構成部品	5
■ 取付概要図	6
■ バックカメラの取り付けについて	7
■ 取り付けと接続	9
■ 故障かな?と思ったら	11
■ 仕様	12

安全上のご注意（必ずお守り下さい）

●火災、地震、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合保証対象外とさせていただきます。

お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の実装には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取付をお勧めします。
- 「取扱説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 定期的に取り付け状態を点検してください。

—販売店様へ—



取り付け、接続作業が完了しましたら、この取扱説明書をお客様へお渡しください。

⚠ 警告



人への危害、財産への損害を防止するため、必ず守っていただきたいことを説明しています。

取扱説明書に記載されている注意事項を守っていただけないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますので注意してください。正しく取り扱わなかった場合や、常識をこえた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■守っていただきたい内容を、次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	しなければならない内容です。

安全上のご注意（必ずお守り下さい）

- バックする際は、必ず目視で後方を確認しながらゆっくり運転してください。
- 本機は鏡像タイプの（バックミラーやサイドミラーと同様に映す）後方確認用カメラです。
- 本機はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。
- 本機は広角レンズを使用しておりますので、近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。

警告

本機はDC12Vマイナスアース車で使用する

DC12Vマイナスアース車専用です。
これ以外のお車には使用できません。
火災や故障の原因となります。

カーナビゲーションが表示している警告・注意事項等を厳守する

正常に動作しなかったり、事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが巻きつくと事故の原因となります。

取扱説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は正しく行ってください。
火災や故障の原因となります。

作業後は、車の電装品の動作確認を行う

正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、交通事故の原因となります。

ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する

破片などが目に入ったりすると失明の原因となります。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行う

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処理を施してください。火災や感電の原因となります。

本機を分解や改造をしない

事故、火災、故障の原因となります。

安全上のご注意（必ずお守り下さい）



警告（つづき）



取り付けや配線に、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの保安部品を使用しない

制動不能や発火、事故などの原因となります。



ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。



前方の視界を妨げる場所や、ステアリング/ブレーキペダル/エアバッグ等の運転操作を妨げる場所に取り付けや配線をしない

交通事故の原因となります。



本機取り付け・配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますのでお買い上げの販売店にご依頼ください。



必ず付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実な固定ができず、事故や故障、火災の原因となります。



取り付け場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き確実に取付ける

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。定期的に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。



本機は、車幅/車両前後からはみ出さない場所に取り付ける

歩行者などに接触して思わぬ事故の原因となることがあります。



カメラをガラス面に貼り付けない

カメラが外れて落下し、歩行者などに接触したり、事故の原因となることがあります。



コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。傷つける、無理に引く、折り曲げる、加工する、重いものを載せる、熱機器へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。



コードを破損しない

傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、火災や感電、故障の原因となります。
●車体やねじ可動部へ挟み込まないように引き回す。
●ドライバーなどの先で押し込まない。

安全上のご注意（必ずお守り下さい）

異常発生時やお問い合わせはまず、お買い上げの販売店、またはお問合せ窓口にご相談ください。お客様による修理／分解は、絶対におやめください。



警告（つづき）

❗ 目視による安全確認をする

モニター画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながら、ゆっくり後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかるおそれがあり、交通事故の原因となります。

⊘ 故障や異常な状態のまま使用しない

画面から映らない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合はただちに使用を中止してください。事故や火災、感電などの原因となります。

⊘ 本機を車載用以外には使用しない 強い衝撃を与えない

発火、感電、けがなどの原因となります。

⊘ 自動洗車機（高圧水）で洗車を しない

カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因となります。また、脱落による事故の原因となります。

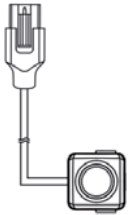
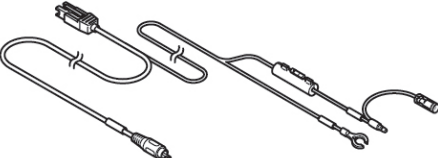
⊘ バックカメラをアルコール等揮発性 の薬品で拭かない

変形や変質、破損の原因になります。

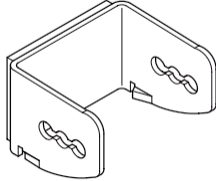

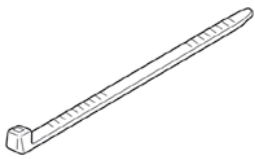
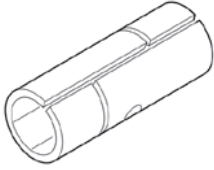


構成部品

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。

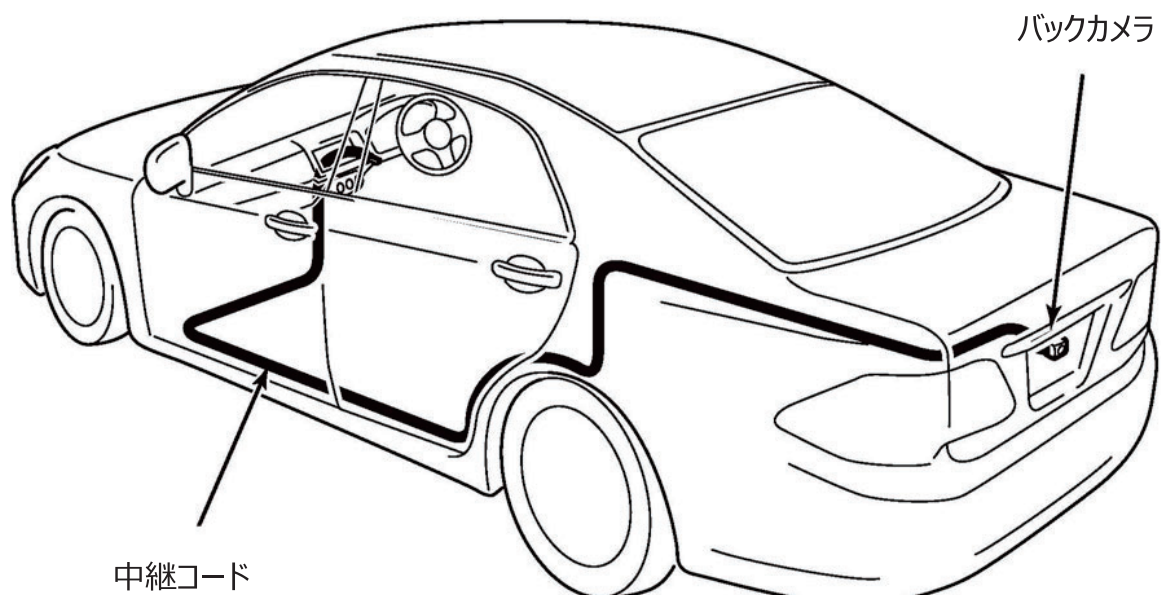
●本体関係

 <p>バックカメラ（約5m）×1</p>	 <p>中継コード（約4m）×1</p>
--	--

●取付用部品関係

 <p>U型ブラケット（3Mテープ付き）×1</p>	 <p>小ねじ（M3×6）×2</p>
 <p>バンドクランプ ×3</p>	 <p>防水クッション ×1</p>
 <p>保証書 ×1</p>	 <p>取扱説明書 ×1</p>

取付概要図



バックカメラの取り付けについて

－取り付け前－

- 湿気が多いときは、室外での取り付けはしないでください。(粘着力が弱くなり、走行中にはがれる危険性があります)
- 必ず組み合わせる機器の取付説明書もよくお確かめの上、取り付けてください。

－取り付け作業時－

- 取り付け後、走行してもさしつかえありませんが、24時間は絶対に水をかけたり、雨にあてたり、引っ張るなど無理な力を加えないで自然放置してください。
- 気温が低い(20℃以下)と両面テープの粘着力が弱まります。ドライヤー等を使用し、粘着部を温めてから貼り付けてください。

－取り付け位置について－

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、取り付ける際は、図の例にしたがって取り付けてください。正しく取り付けないと、「道路運送車両の保安基準第18条」に適合しなくなるおそれがあります。

- 保安基準は改正されることがあります。
- 保安基準についての詳細は、国土交通省のホームページ内、「道路運送車両の保安基準」を参照してください。

◆規制対象となる車両◆

平成21年1月1日以降に製造された乗用車

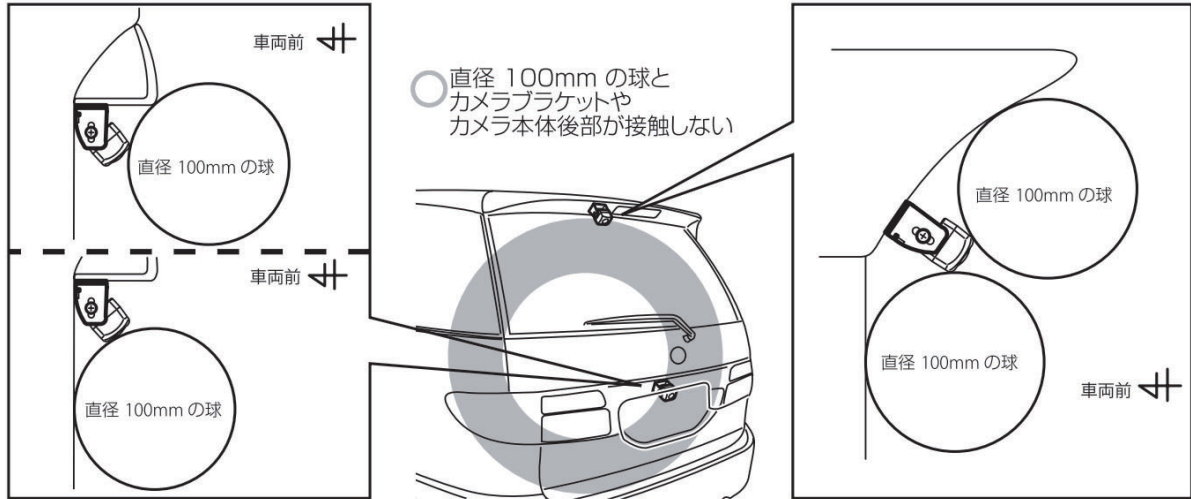
※平成21年1月1日以降に製造された車両であっても、商用車の場合や、2m以上の高さに取り付けの場合など、規制対象外となる場合があります。

詳細は、国土交通省のホームページ内、「道路運送車両の保安基準」を参照してください。

バックカメラの取り付けについて

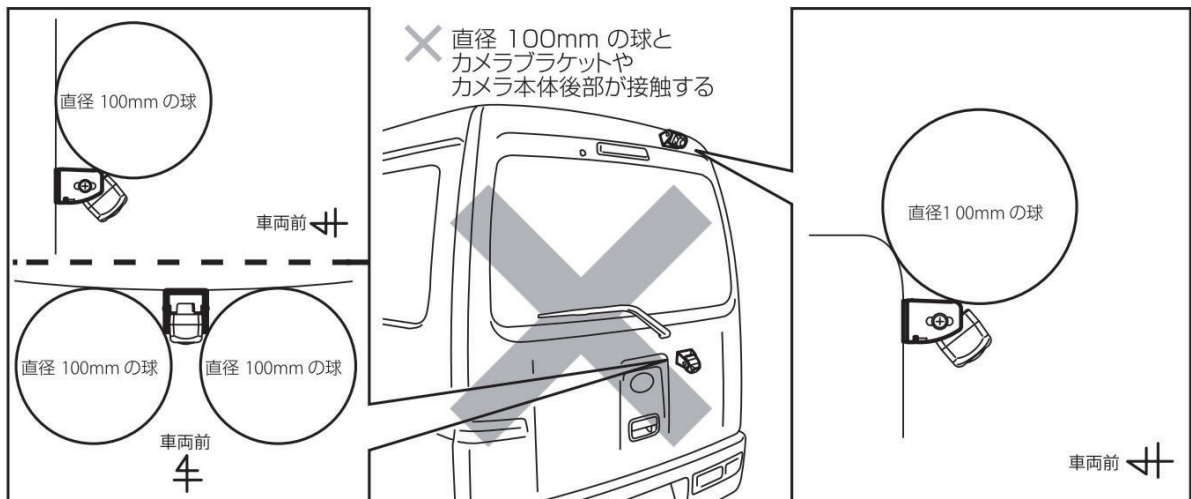
保安基準に適合する取り付け例

カメラブラケットやカメラ本体後部が直径100mmの球と接触しないように、リヤスポイラーやリヤガーニッシュなどの下面に装着することで保安基準に適合します。



保安基準に適合しない取り付け例

カメラブラケットやカメラ本体後部が直径100mmの球と接触すると保安基準に適合しません。



取り付けと接続

1.車を平坦で安全な場所に停める

パーキングブレーキをかけエンジンを切ります。

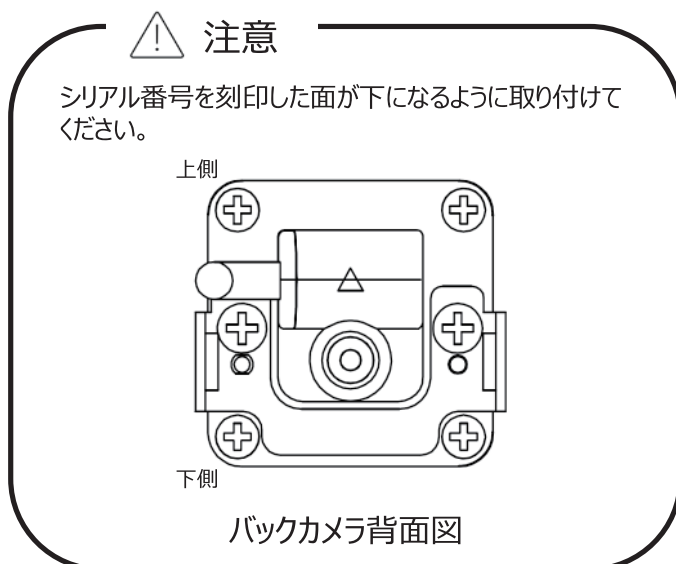
2.バックカメラの取り付け位置を決める

- バックカメラをテープ等で仮止めし、角度を調整して、車両後端が確認できる位置に取り付けてください。
- バックカメラをブレーキランプ等の光がカメラレンズに入らない位置に取り付けてください。
- バックドア開閉時にバックカメラおよびコードが車両と干渉しないように予め取り付け位置を確認してください。
- 両面テープのハクリ紙は、まだはがさないでください。

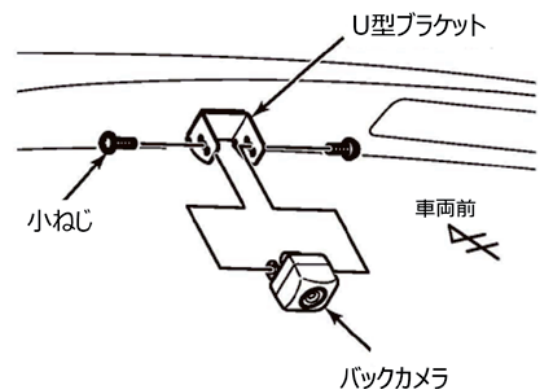
3.ブラケットを貼り付ける

- ①U型ブラケットを貼り付ける部分の汚れ、水分、油分などをきれいに拭き取ってください。
- ②U型ブラケット両面テープのハクリ紙をはがし、リヤスポイラーの平らな面へ取り付けてください。

4.バックカメラをブラケットに取り付ける



－ リヤスポイラー吊り下げ取り付け（例）－



5.バックカメラのコード線を車室内に引き込む

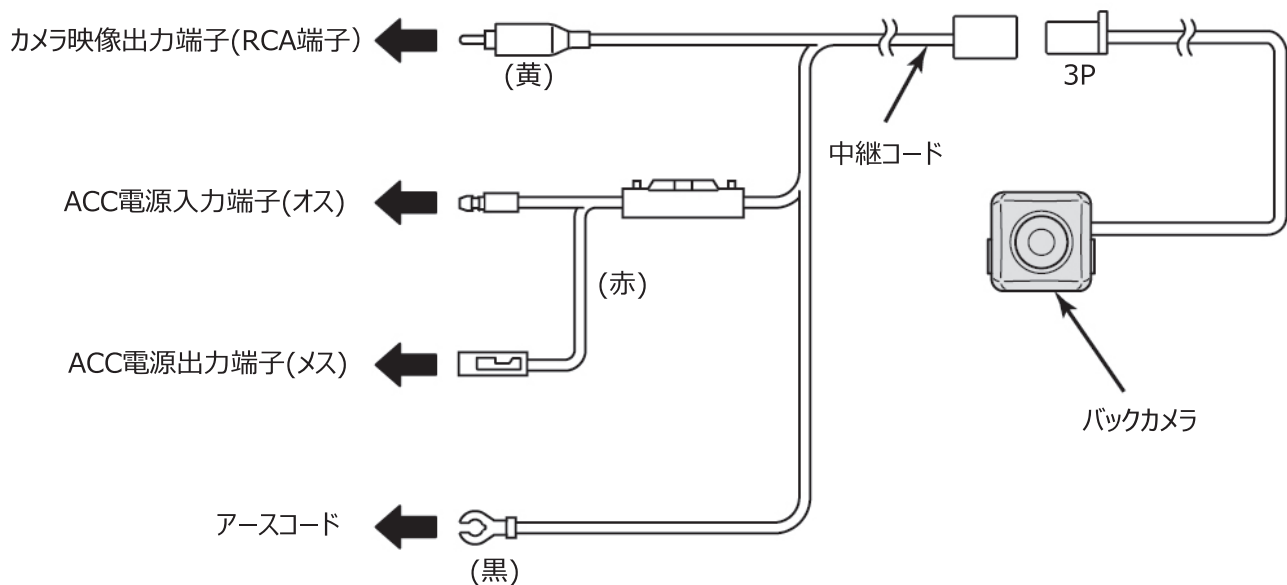
バックカメラのコードをバックドア内側まで引き込んでください。

取り付けと接続

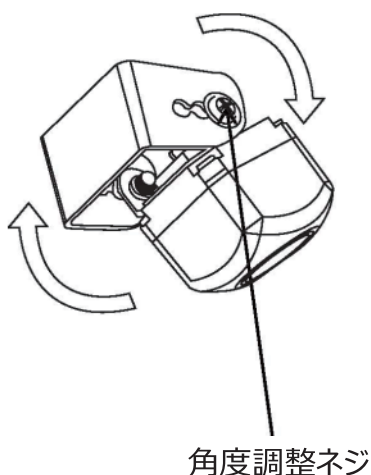
6. バックカメラのコードを配線する

※カーナビゲーションのバックカメラ入力に接続してください。

※カメラ設定・操作やコードの接続は、必ずカーナビゲーションの取付説明書をご確認の上、行ってください。



7. バックカメラの映像を確認し、角度調整を行う



- ①車を水平な場所へ停車する。
- ②ブラケットの角度の調節ネジを緩めカメラの角度を調節する。
- ③エンジンをONにして、シフトレバーをリバースに入れる。ディスプレイ上の映像を見てカメラの角度を確認する。
- ④ブラケットのはがれに注意して、角度調整ネジをしっかりと締め付ける。

8. 保護シートをはがす



故障かな？と思ったら

症状	原因と処置
カメラ映像が映らない	<ul style="list-style-type: none">● 各配線の接続をご確認ください。● 接続している機器の設定をご確認ください。
映像が不鮮明	<ul style="list-style-type: none">● カメラに泥やほこりがついている。 →レンズの汚れを拭いてください。
画像がちらつく	<ul style="list-style-type: none">● 蛍光灯の光など照らされた場所を映している。 →故障ではありません。
画像が見えにくい	<ul style="list-style-type: none">● 暗いところを映している。● 部分的に明るい光を映している。● カメラが高温になっている。 →故障ではありません。

仕様

型番	CK01-RCA
商品名	バックカメラ
映像素子	1/4インチ カラーCMOSイメージセンサー
有効画素数	約31万画素
解像度	688H × 528V
カメラ画角	水平：約140° 垂直：約110°
レンズ部	広角 焦点距離 f=1.13mm F値2.0
フレームレート	30fps
ホワイトバランス	自動
露出の補正	自動
電源電圧	DC8V - 16V
消費電流	< 100mA (DC12V)
消費電圧	約0.5W
ビデオ出力	NTSC 1.0Vp-p (75Ω)
防水性能	IP67
動作温度範囲	-30℃～+70℃
保存温度範囲	-40℃～+85℃
本体サイズ	約23(W)×23(H)×20(D)mm (突起物除く)
本体重量	約110g (コード含む)
付属品	中継コード (約4m) ×1
	U型ブラケット (3Mテープ付き) ×1
	小ねじ (M3×6) ×2
	バンドクランプ ×3
	防水クッション ×1
	取扱説明書 ×1
	保証書 ×1

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店
またはトリチアサポートセンターまでご連絡ください。

[URL:<https://www.tricheer.co.jp/support/>]

KOVALL

トリチアジャパン株式会社